

会 議 録

テーマ	第5回（仮称）統合協議会設置までの準備会議
日時	令和3年3月14日（日）14:00～15:20
場所	高陵小学校図書室
出席者	<p><高陵小校区代表者> 3名 <中宮北小校区代表者> 3名 <傍聴者> 1名 <学校安全課> 畑中課長、嶋田課長代理、中山係長、多田主任、廣瀬主任</p>
協議内容	<p>【教育委員会の説明や提案など】</p> <p>■（仮称）統合協議会の名称を「新しい学校づくり協議会」とし、協議会の概要、委員報酬なし等を説明した。</p> <p>■統合にあたっての備品購入スケジュール、通学路スケジュールについて、説明した。</p> <p>■高陵校区・中宮北校区合同説明会を3月27日に開催することを説明した。</p> <p>■令和3年度の高陵・中宮北での交流事業について説明した。</p> <p><質問・回答></p> <p>1. 協議会名称、委員報酬について</p> <p>◆前回の準備会議では、個人に対する報酬は無くても、各コミュニティ等への補助（報酬支給）という方法はできるのかどうかという論議があったと思うが、そのことについては、どう考えるか。</p> <p>→個人に出てきていただき、支払先をコミュニティもしくはPTAに報酬を支払う方法としても、それなりの個人への負担（報酬もらうことでの責任）が出てくると思われる。また、他市では、お金を貰って参加しているという事で、風評トラブルが起こったと聞いたこともある。数市町村に問い合わせしたところ、ほとんど報酬金はお渡ししてないところがほとんどであった。前回の準備会議でも払えない事ではないと説明したが、協議会</p>

委員にご負担をかけないよう無報酬を提案させていただきました。

◇報酬を支払うと毎回会議の報告書を作成する必要がある等の手間が増える。

◆参加の時間に対しての報酬となる場合、報酬を受けることで、逆に言いたい事も言えなくなるのではないか。

◇コミュニティであれば、資料を必要部数、教育委員会で印刷してもらうような対応は可能と思われる。

→印刷については、基本的に対応する。それ以外に交通費等の負担など実費弁償で対応できる。

◇両校で、同じ資料を配布する必要が出てきた際に教育委員会で、資料を準備していただいて、校区コミュニティやPTAのルールの中で配布していきたい。

◆協議会の広報部会で配布資料を作るという事が軌道に乗れば、自然にそうなると思う。

◇「新しい学校づくり協議会」の前に冠はつかないのか。他の学校統合と重なることはないのか。他校区で統合が出るという話はないのか。他で協議会ができれば区別できない。

→他の学校統合も出てくる可能性はあるが、今すぐに協議会発足という事にはならないと思う。もし、他校区で学校統合を進めるようであっても、まず高陵、中宮北校区の統合はモデル的にやるという事である。次の学校統合で協議会を設置する事が出てきた際には、協議会名称も検討する。

◆説明会で、この協議会についてオープンな形で論議をするという話があったと思うが、議決権に関して、制限をつけるという事か。

→議決権、そこまでは説明会で説明できなかった。いろいろ意見を述べたいとか、多くの人ができるような形にしていきたいと思っているが、委員に委嘱した者でないと協議会に参加できないという事になってくる。委員を募って手を挙げていただく事はできるが、この協議会を開催した時に必ず出席いただかないと会が成立しないため、そこでご負担をかける事になる。その時々に応じて意見をいただくという事については、例えば専門部会というのを設置して、そこで意見を揉んでいくという運営を取るのが一番自然かと考え提案した。

◆専門部会には議決権がなく、専門部会で協議して、こうした方がいいという内容を上の会議である協議会で議決するという形になるのか。

→新しい学校づくり協議会の中での意見をまとめるというのは、最初に入る10人の方々が、最終的にそこで協議会としての意見をまとめるというような構成となる。

◆協議会の人数は、どのようなイメージがあるのか。地域を代表する者が何名で、例えば教育委員会を代表する者が何名か。この資料では、合計20人と書いてあるが。

→教育委員会を代表する者は、2名で考えている。

◆教育委員会は、協議会ではどうなるのか。

→新しい学校推進室室長は委員に入る事になっている。令和3年度、学校安全課は、新しい学校推進室に変わる。その最高責任者が室長になる。

◆室長ともう一人は誰か。

→学校教育部の職員となる。学校教育を専門にしている、学校教育室の室長が入る。事務局として新しい学校推進室が行い、教育委員会の各課が案件に応じて出席する。

◆教職員を代表するのは校長だけか。

→校長、教頭で考えている。

○最初の地域を代表する者、保護者を代表する者というところで、残りの10名を考えている。

○委員を増やす時は、市で附属機関等設置構成協議をする必要があり、その都度手続きがある。ある一定の期間で、ご参加いただく方の調整をしていきたいと考えている。

→それは、いつぐらいを想定しているのか。

→皆さんと協議させてもらう予定。

◇細かい話は専門部会での協議ということによいか。

→そのとおり。

◇専門部会は必ず設置することではないということか。

→必ず設置ではない。必要に応じての設置となる。

→極端に言えば、専門部会は設置しなくてもよいということか。

→そのとおり。最初は、専門部会を設置したものをイメージしてたが、それは必要に応じてという事と考えている。

◇協議会でまとまらなければ、専門部会作って意見を聴こうという事でよいか。

→そのとおり。例えば、PTAについては、専門部会が必要と思われる。

◇PTAの事は、保護者PTAで協議するしかないと思う。

◇広報や書記は委員の中で、位置づけしなくてもいいのか。もちろん事務局が全部それを担ってくれるなら、それでいいのだが。多分、要綱案では書かれていないため、そこをどうするか。委員として会長、副会長で決めるだけで、本当によいのかという気はする。

◆今日の午前の中宮北小学校保護者説明会では、学校開放事業に関しての意見があった。統合の移行期の学校開放事業はどうなるのかという内容であった。こういう事に関しては、多分協議会委員だけで解決できないだろう。例えば、協議会委員が足らなかつたら、もう一人追加するという事になるだろうと思う。当然、やってみないと分からない。まず、問題を全部洗い出しして、一番いい方法は何であるかという事を協議することは4月以降でいいのではないかと思う。発足時当初は、委員は10名でいいかという気はする。20名以内で構成するという事になっているから、今後、委員を追加できると思う。専門部会ができれば、部会長が、協議会に来てもらうという事になるかと思う。→協議会が大きくなってしまおうと決まりにくくなるという懸念はある。

○4月初めに新しい学校づくり協議会の発足に向けて、現在庁内調整を図っている。次回の4月の会合は、協議会という形で発足したいと思っている。皆様の委員の就任について内諾をいただけたらと思うが、よろしいか。

→中宮北小学校PTAは4月から新しい会長なるので、協議会は新しい会長が委員となる。

◆中宮北校区コミュニティは、会長ともう一人がおそらく協議会に参加できるだろう。

→最初は、各校区コミュニティ、各校区PTA会長、各校長、各教頭、教育委員会を代表する2名で、発足したいと思う。

◆当初、その追加の委員の登録について、令和3年4月1日までにしないとけない話があったと思うが、それは4月以降という事でよいか。

→そのとおり。ただし、速やかに対応したいと思っている。

◆追加の委員については、地区と保護者の数を増やして、あとで追加登録という形でいいか。

→それでよい。

◆まず、4月1日に組織として成り立つように委員を構成するという事でよいか。

→それでよい。また、依頼する。

2. 前回会議で出された確認事項について (令和3年度予算・契約スケジュールについて)

◆予算は物品についての契約か。

→物品の他、引っ越しに伴う予算なども合わせて考えている。

◆前回の説明会の時に閉校式をどうするかという話があった。閉校式を行うには、予算必要となる。その予算は現状ないので、準備会議の中では、やらない選択肢もあるという話があった。一方、保護者からは是非やるべきであろうとの意見もあった。そのことを考えて判断しないといけないと思う。

→両校の先生方と打ち合わせして、どうしていくのか調整が必要となる。あわせて予算手続きも、どうするかを検討をする。9月補正の手続きをしていくには、事前に7月ぐらいを目途にしなければいけないという事を皆さんにお伝えする必要があったので説明させていただいた。

◆統合協議、学校づくり協議会で、まず何がいるかというところから始めないといけない。

◆学校で必要な物品というのは、どういうものを想定しているのか。

◇令和3年度の補正予算か。移った際のプレハブ教室に必要な物か。

→令和3年度の予算となり、高陵の子どもたちが中宮北に行く

までの準備するためのものである。補正予算なので、令和3年9月以降に契約するものである。

→それは、ほとんど両校で決める事でもある。

◆協議会としては、形式的に承認するという事か。

→学校だけで用意すると大変なので、引っ越し費用、物品等を教育委員会でも用意する考えである。

◆例えば、全て電子黒板にするとか。そういったことまでしないという事ならいい。

→ハード面的に最先端の学校づくりをするのは、高陵小学校敷地に新しい学校を建てる際になってくる。ハード整備は令和8年に向けて行う。それまでにソフト面でできる事は、やっていくべきと考えています。

◆子どもの意見も含め、保護者が今まで考えていた事を研究する必要があると思う。仮設校舎は間借り生活みたいなもので、期間は長いと思うが、先生方が必要最低限なものを用意するという事であれば、慌てる事ではないと思う。

→特徴ある学校、モデル的な新しい学校をつくっていくために必要なものをすべて、令和4年4月までに準備し始めるという事にはならないが、それに向けた取り組みは、始めていく必要があると思っている。事務局側からは、学校と相談しながら、できる事から始めていきたいと考えている。

◆まずはイメージ、理念を先に打ち立てて、やれるものは仮設の間でもやるという事であれば、いいと思う。

→教育委員会、校長先生も含めた中で、協議会に提案していきたい。

◆特に先生方がいろいろ機器を導入されるようになった。それが使い勝手が悪いという人もいれば、一種の実験場みたいな状態にもなっていて、若い先生は使いこなしている。そうでもない人は、電子黒板より黒板の方がまだましというようなこともある。それは、学校の先生方のご意見を十分に聞いて、正式に本当に高陵敷地の新設校に行く時に理想のものができるための、準備期間という位置づけとして、先生方のご意向、意見は是非聞いてあげてほしい。

→統合し特徴ある学校づくりをするにしても、いきなりというのは、学校の先生方にご負担をかける事になるので、協議しながらやっていきたい。

◇これは令和3年度の予算を使って、令和4年4月に統合するまでに準備しておくというイメージでよいか。

→そうである。

◇基本的には今と同じ状況のものは、別に必要備品に盛り込まなくても、中宮北の設備の状態だけで対応して貰えるというイメージでいいということか。

→はい。

◇統合する際に付加して必要となるものというイメージでよいか。

→はい。気付いてないものがあれば、補正予算で用意する必要がある。

(通学路のスケジュールについて)

◇通学路を見直したら登校班も見直しもするものなのか。

→毎年見直す。例えば、新入生がどの地域に何人いるか。低学年、高学年の人数バランスも考えて、組み替えをしている。

→地区児童会で決めて、登校班の班長が集合する場所も決める。毎年、それほど大きな変更はないと思う。

→毎年、微調整をしている。

→登校班が決まらないと通学路は決まらないのか。

→そうでもない。

→班は基本的に決まっている。既存の班が、基本10人以下で、もし10人以上になると分散する。高学年、中学年、低学年のバランスをみて、担当の地区児童会の先生が、登校班編成を行う。

◇通学路について、大きく変更する地区は、禁野と西禁野ぐらいかと思っている。そこは、多分坂を登って行った方が近いが、朝は交通量が多い。他の地区は、高陵小の前まで通って、前の信号渡って、中宮北敷地に向かう形になると思う。

→「ファミリーマート」の前か。

→「ファミリーマート」の前ではなくて、その内側の「万代」から上がっていく細い通りがある。

→ひらかた病院前の道路の突き当りの右側で、「ライオンズ」から下りてきたところに、「ファミリーマート」があり、その前を通ってくる児童もいるのではないか。

→そこはない。住宅の内側にしか通学路はない。

◆高陵小学校の裏側に新しい宅地できた。あそこは回らないと登校できないのでは。

→高陵小学校の裏側の宅地は、徒歩なら迂回せずに登校できるので、高陵小学校上側の児童も迂回せずとも、住宅地内から行ける。西禁野と禁野の子だけは、通学路の変更が必要。

→バス通りを歩かせるために歩道の舗装をすることは可能か。

→バス通りより、内側のトンネル超えて、その細い通りを上がっていくのが一番安全だと思う。

→距離は遠いのでは。

→距離もその道を通った方が近い。

→病院の前の道を通ることはあるか。

→通らない。そこを曲がって行ったところの信号は中宮北が合同庁舎からの通学路で使っている。

→外大前のところか。あの通りで気になるのは、外大前と高陵前に信号がある。その間に一個歩道があるが、信号がないのが気になる。

→信号の間隔が短くなるので、おそらく信号設置は困難と思う。

→多分、登校時はいらぬ。

→みんな見守りしているから。また立番の方もおられるから。

→下校時が危ない。

→ものすごく遠回りになるから、その信号を何とかしてほしい。大学があるのだから、中間に1個ぐらい信号があってもいいのでは。

→「コマツ」からも道ができるという話があった。いずれできる時には、考える必要が出てくる。

→高陵小と中宮北小は、子どもは安全なところを歩いて行っている。他の校区は、バス通りの交差するところを歩いて行ったりしている。高陵校区内の通学路は信号のある大きな道路はない。

◆枚方は、都市計画がうまくいってないところがあるので、こういう時に困る。

→枚方市は、交通事情に課題は多い。

→信号が問題なら、禁野の子どもも高陵小学校の下まで行って、遠回りだが中宮北小に行くという案もあると思う。今までのままで、高陵小学校の前を歩いて中宮北敷地まで通う。そうすれば、下校時だけの変更で、それほど変更点はない。

→いずれ中宮北小から高陵小に移る時の通学路の課題も解決できるようにしておけば、よいと思う。

→基本、反対向きの経路となるのか。

→中宮北小敷地の中を通さないと、中宮北小の東側の子どもは、

遠回りになる。

(学校名募集について)

◆学校名の選定で最終市長や教育長等が決定する案について、識見のある人、校長、教育委員会、市長などで学校名を決定していただけるとありがたい。

◆学校名を決める時に、市長や教育長には、方向性の確認はとらないのか。

→確認はとる。

◆最近、平仮名の小学校がいっぱい出てきた。その学校名で70年持つかどうかという気がする。案外、地名でいくのも一つだと思う。枚方市で調べてみると五常や明倫といった道徳的な名前をつけてるところがある。1位、2位、3位ぐらいで選んで、その中から学校らしい名前にするという手もある。それは協議会で4月以降決めていただけたらいい。

→最終、学校名を①協議会で決めるのか、②保護者、地域の方による投票で決めてもらうのか、③市長・教育長が決めるのかという事でよいか。

→その3つの方法から、どれを選ぶべきかを4月以降決めるということによいか。

→4月以降で、早めに決めておいた方がよいかと思う。

→今日、皆さんからいただいたご意見を聞いて、統合協議会で最終評価したらいいということなら、準備会の中で、こういう意見が出たという形で、協議会へ引き継ぐ。

→ただし20人というメンバーが揃ってない時に決めるというのは良くない。だから20人と決めて、新しい協議会をつくると言ってる以上は、その素案をいくつか協議会で出して、早々に決めなければいけないと思う。

→誰が、最後に上位3つの学校名案を1つに絞るかという話である。

→全部決まった人が決めるというのが一つ。それからもう一つは票の多い案を決めるというのが多い。

→公募で上位3つまでに決めた事に対して、最終的に教育長が決める。もう一つは、統合協議会の中で評価する方法がある。それぞれ評価項目をつくり、採点形式で、一番高かった点数を学校名にする方法。統合協議会だけでは不十分となり、学校の子どもたち、保護者にも意見を聞くという話になれば、最後に

絞られた学校名案を皆さんで選定して、それを点数方式にして、点数の高かった案で決定するという方法もある。

◆圧倒的に多い案で問題なければ、それに決定すると思う。学校名の付け方は、最後妥協すると案外、平凡な名前がつく事もある。準備会で決めるよりは、協議会の新メンバーが、学校名の決定でどれが一番適切かというところから始めていく方がよい。

◆3月の合同説明会で、みんなに周知徹底した上で、学校名の案を応募しないと、学校名は決まらない。学校名は、5月とか6月に決定すると言ってなかったか。
→9月議会で確定していこうと考えている。6月末頃には、決めておきたいと考えている。

◇学校名入りの物品の見積もりをする際に名前決まっていなくて手続きできないからか。

→校歌はできない。学校名を織り込まないといけないわけだから。そうすると、正式に決定する前に全部決めてしまうということは議会に対して、失礼な話になる。そこの兼ね合いとして、別に協議があってもいいという気はする。

→そうなる最終、保護者・地域の投票で決める案はない。そういうタイムスケジュールを見るなら、多分間に合わない。

→学校名案の評価の項目を作り、協議会の中で皆それぞれ評価する。

→協議会委員で点数をつけて、その後、市長、教育長に点数をつけてもらったらか。

→協議会委員で最終投票し学校名を決める案について、委員の他に教育長とかも入ってもらうのはどうか。

→意向投票の上で、決定する委員会を作るのはどうか。

→学校名を募集するのは、この協議会が発足してからとなる。

→合同説明会でも募集すると説明する予定。

3. 合同説明会について

◆校区コミュニティ協議会で13日に会ったばかり、そのタイミングであれば、そこで各自治会に配付できた。別途やらないといけない。

→PTAは、学校から配付してもらおう。あとは、新一年生をどうするか。高陵幼稚園には、お知らせを出して欲しい。高陵幼

稚園の児童は、ほぼ中宮北か高陵の校区の子どもである。他の私立幼稚園での統合校への入学予定の子どもへの周知は、難しいと思う。

○新一年生の方への周知はどのように行うのか。

→在校生の保護者へは、まだ正式に決定していないため、統合に関するお知らせはできていない。例えば、教育委員会が学校側に対して統合に関して正式に通知しているのであれば、学校側から新小1の保護者へ連絡することもおかしくないが、現状はそうでないため、学校から学校安全課のお知らせを配付するのはおかしい。

→3月に一回合同説明会を実施し、4月以降にどちらかの学校に分けて、もう一度説明会を開催してもよい。ある程度、話がまとまれば、6月頃に開催するのもあり。

→情報を早く知りたいと保護者からの意見がある。そのため、皆様にお知らせする手法を我々は考える必要があるので、皆様にご相談する。

→この通知について、27日の開催する何日か前には、ホームページに説明会資料を掲載する必要があると思う。その説明を通知文に入れる予定。

→保護者への通知は、学校を通じて、配付する。新一年生への配付方法と高陵幼稚園への配付という方針でいこうと思う。

4 その他 連絡事項

(交流事業、加配等について)

◆教員の加配は、中宮北小側に一人置いて、両校の交流について調整をするのか。

→そこは両校の校長先生方にお任せしようと考えている。統合する上で、それなりの準備というのがある。学校にご負担かける事になるので、ここに先生が一人来ていただくのもあり、先生方にどう動いていただくかというのは、学校にお願いできたらと考えている。

→今のところは一人の加配となる。

→それは、ずっと続くのか。または令和3年度の1年だけか。

→現時点では、令和3年度の1年だけである。次年度以降は、今後の課題である。